

第 1 章

正の数・負の数

小学校では、整数 (0, 1, 2, 3, ……) についての **四則** (たし算, ひき算, かけ算, わり算) の意味や四則に関して成り立つ性質 ($\bigcirc + \square = \square + \bigcirc$ など) について学んでいる。また、**小数** (0.5, 1.8 など) や **分数** ($\frac{1}{2}$, $\frac{5}{7}$ など) の意味と四則計算を学習している。

この章では、数を **正の数** (0 より大きい数) と **負の数** (0 より小さい数) にまでひろげ、その意味を理解するとともに、**四則計算ができる** ようにする。

この章の目標

1

小学校で学んだ **0** と **正の数** (0 より大きい数) に対して **負の数** (0 より小さい数) の意味をしっかりとつかむ。たとえば、反対の性質を表す量として、100 m 北が -100 m 南 (マイナス 100 m 南) と表されることから理解する。

0, 1, 2, 3, ……
-1, -2, -3, ……

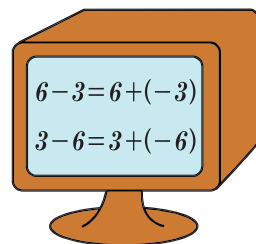
2

正の数 と **負の数** の **四則計算** が自由にしかも早くできるようにする。そのために、いままでの数の四則の意味をひろげて、しっかりと理解すると同時に、その **計算能力を高める**。つまり、計算は **正確** でなければならないが、**らくにする** ことも考える。



3

特に、**減法** (ひき算) について、**減法がいつでもできる** ように、数の範囲が負の数までひろげられたこと、また **減法が加法** (たし算) と同じように表される こと——数をひくことは符号を変えた数をたすこと——を学ぶ。



4

チャートのページで、**数学の考え方** をよく理解し、自分のものにすることをめざす。

